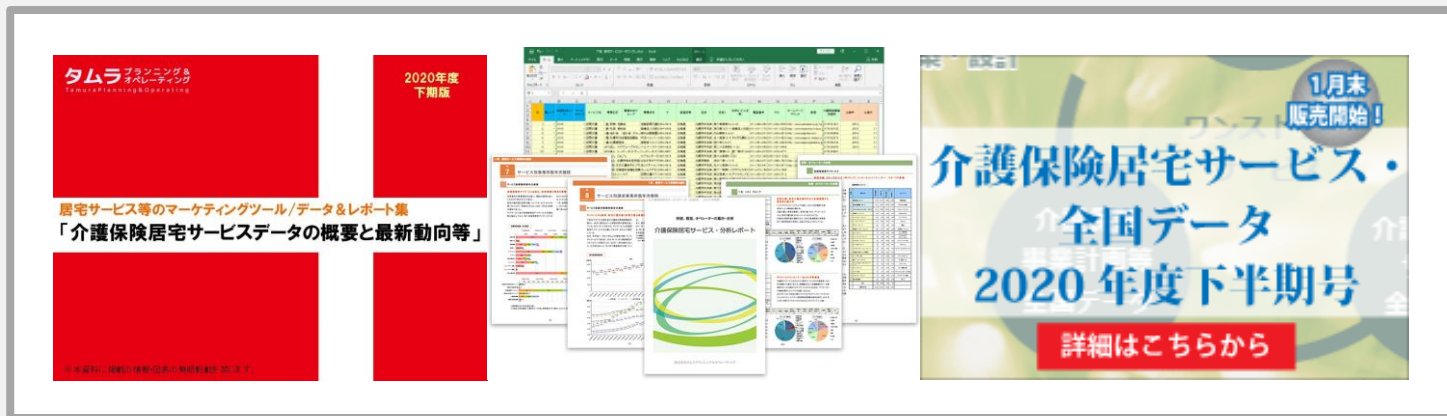


2021年3月15日

2021年最新版「居宅系サービスの業界動向」
～コロナ禍の社会変動と介護保険の改訂を踏まえて～



■はじめに

高齢者住宅・介護サービスのデータベースとコンサルティングを提供する株式会社タムラプランニングアンドオペレーティング（東京都千代田区、代表取締役：田村 明孝）では、2020年度下期の介護保険居宅サービスデータ〔全国版〕を発行しました。

2020年度はコロナ禍における大きな社会環境の変化があり、3年後ごとに見直しがされる介護保険の事業計画の改定を迎える年度にもあたり、高齢者住宅・介護サービスの業界も大きく変動した時期でもあります。

当社ではそのような状況の中で、全国の介護保険居宅サービスの事業者データをとりまとめ、事業所の開設動向やコロナ禍におけるサービス実態の情報を業界動向として発表しました。

そのためこのリリースでは、2020年度下期の最新版の業界動向より、代表的なトピックスをご紹介します。

■トピックス

- ①介護保険居宅サービス事業所の推移
- ②大手の事業主体ランキングの変動
- ③コロナ感染に関連したケース考察

今回の介護保険居宅サービスデータ〔全国版〕の発行にあわせて開催した、データ活用セミナーのダイジェスト動画もありますので、こちらをご覧ください。

ダイジェスト動画



《プレスリリースに関するお問い合わせ》

株式会社 タムラプランニングアンドオペレーティング
電話：03-3292-1107
E-mail: tamurakikaku-a@tamurakikaku.co.jp

担当者名：中里・甲斐

トピックス①介護保険居宅サービス事業所の推移

まず全国の介護保険居宅サービスの概況として、訪問介護や居宅介護支援、デイサービスをはじめとする17類型・約18万ヶ所の事業所数の推移を見ると、次表のようになります。

分類(タイプ)	サービス(類型)	2016年度 下期	2017年度 下期	2018年度 下期	2019年度 下期	2020年度 下期	2019年度—2020年度下期 の増減率(%)		
居宅サービス	訪問タイプ	訪問介護	35,271	35,347	34,983	34,967	35,158	0.5%	→
		訪問入浴	2,092	1,979	1,869	1,799	1,730	-3.8%	↓
		訪問看護	10,154	10,026	11,145	11,752	12,365	5.2%	↑
		訪問リハ	3,633	3,563	3,887	4,069	4,327	6.3%	↑
	通所タイプ	デイサービス	23,030	23,548	23,879	24,188	24,384	0.8%	→
		デイケア	7,431	7,338	7,605	7,661	7,855	2.5%	↑
	その他タイプ	福祉用具貸与	8,046	7,966	7,778	7,650	7,588	-0.8%	→
		ショートステイ	10,777	11,076	11,252	11,340	11,511	1.5%	↑
	短期入所タイプ	ショートステイ(老健)	3,858	3,798	3,846	3,871	3,881	0.3%	→
		ショートステイ(療養)	889	714	622	542	482	-11.1%	↓
その他タイプ	居宅介護支援	41,135	41,366	41,045	40,257	39,218	-2.6%	↓	
地域密着型サービス	訪問タイプ	定期巡回・随時対応型サービス	774	919	1,014	1,053	1,117	6.1%	↑
		夜間対応型訪問介護	232	230	230	225	223	-0.9%	→
	通所タイプ	地域密着型デイサービス	21,180	20,779	20,345	20,086	19,930	-0.8%	→
		認知症対応型デイサービス	4,344	4,293	4,213	4,081	3,955	-3.1%	↓
	複合タイプ	小規模多機能	5,208	5,426	5,539	5,569	5,610	0.7%	→
	看護小規模多機能	328	426	532	608	723	18.9%	↑	

※当社が各年度の下期(1月末)時点でリリースした事業所データを集計
(厚生労働省のデータとは、集計時期や方法が異なる)

1%以上の増減で矢印を区分

- 全国の居宅サービス事業所の最新動向として、事業所数が増えているものは、訪問看護や訪問リハ、デイケアなど医療系サービスが目立ち、これは在宅ケアを推進する介護報酬の改定による影響が見られます。
(在宅ケアのニーズが増加し、医療依存度の高い⇒要介護度も高い利用者が増えることで、対応する事業所の報酬も手厚くなる)
- 一方で事業所数が減っているものは、訪問入浴の落ち込みが顕著になっており、これは入浴を提供する周辺サービス(高齢者向け住宅・施設やデイサービスなど)の増加が考えられます。
- その他にも近年の傾向では、地域密着型の居宅サービスの中でもいくつかの傾向が表れています。
 - ・ 認知症対応型デイサービスが減少
(近年は様々なサービスで認知症ケアの対応や向上が見られる中で、サービス提供の地域や定員などが事業参入の制約になる)
 - ・ 居宅介護支援の事業所が減少に転じる
(ケアマネジャーの受験者数の低下や離職率などから、人材確保が課題)
 - ・ 新設サービスにあたる看護小規模多機能、定期巡回・随時対応型サービスが増えつつある

トピックス②大手サービス事業者のランキング

次に介護保険居宅サービスの主要なサービスとして、訪問介護/訪問看護/デイサービスを運営する事業主体ごとのランキングを集計すると、次表のようになります。

※事業主体に関連する会社やフランチャイズ（FC）事業所については、全国を網羅した業界随一のデータベースになり、当社独自の基準において、グルーピング処理を施しています。

事業主体ランキング：デイサービス（地域密着型デイサービスを含む）

順位	事業主体	主要ブランド名	2019年 下期	2020年 下期	2019年下期-2020年下期の 増減率(%)	
1	㈱ツクイ	ツクイ	519	521	0.4%	→
2	ニチイ グループ	ニチイケアセンター	378	377	-0.3%	→
3	ユニマット グループ	ケアセンターそよ風	195	206	5.6%	↗
4	インターネットインフィニティー グループ	レコードブック	186	205	10.2%	↗
5	リハコンテンツ グループ	リハプライド	187	203	8.6%	↗
6	Care Nation グループ	ブルーミングケア	95	200	110.5%	↗
7	ソラスト グループ	ソラスト	145	176	21.4%	↗
8	QLC グループ	レッツ倶楽部	153	162	5.9%	↗
9	日本介護事業 グループ	だんらんの家	151	153	1.3%	→
10	介護NEXT グループ	GENKI NEXT	155	151	-2.6%	→
11	イー・ライフ グループ	nagomi	133	129	-3.0%	↘
12	ヤマチコーポレーション グループ	きたえる一む	128	125	-2.3%	→
13	早稲田イーライフ グループ	早稲田イーライフ	117	119	1.7%	→
14	3eee グループ	カラダラボ	120	113	-5.8%	↘
15	アクロス グループ	樹楽	106	110	3.8%	↗

※当社が各年度の下期(1月末)時点でリリースした事業所データを集計

3%以上の増減で矢印を区分

※ブルーミングケアについては、複数の事業所(茶話本舗など)を統合

[訪問介護/訪問看護の事業主体ランキングはこちら](#)

デイサービスでは M&A を推進する「ソラスト グループ」と小規模 FC の事業所が急上昇

コロナ前後の比較として、2019 年下期（2020 年 1 月）ー2020 年下期（2021 年 1 月）時点での事業主体ランキングを見ると、特に変動が大きいのはデイサービスになり、コロナ禍でも M&A を推進するグループ企業や機能訓練型の FC 展開のランキング上昇が表れています。

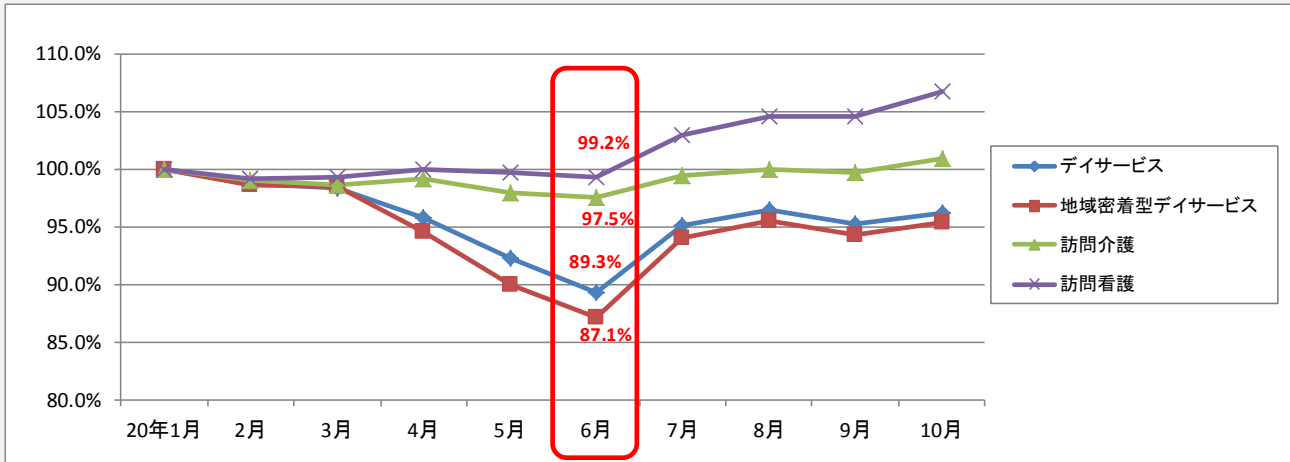
- ランキング 4 位の「ソラスト グループ」は近年 M&A を強力に推進しており、2019 年には東京都の「なごやかケアリンク(株)」、2020 年には大分県の「㈱恵の会」といずれもデイサービスを主力とする 2 社を買収している。
- 機能訓練型の短時間デイサービスで FC 展開を行う「インターネットインフィニティー グループ」と「リハコンテンツ グループ」、および泊り・夜間対応のデイサービスの FC を展開する「Care Nation グループ」の 3 社は、いずれも事業所数が 200 ヶ所を超えた。

トピックス③コロナ禍におけるサービス実態

続いて、コロナ禍におけるサービス受給の実態として、介護保険の居宅サービスの受給者数の変動やクラスター発生からの報告から、補足となる考察も挙げられます。

社会的にコロナの影響が出始める前の2020年1月時点を基準として、主な居宅サービスの受給者数を、各月ごとにトレースしていくと、次のようなグラフになります。

対2020年1月比・サービス受給者数割合の推移



※厚生労働省「介護給付費実態調査」(毎月審査分)データを元に、当社が作成
 ※介護保険居宅サービスの主要なサービスとして、4つのサービスをピックアップ

コロナ禍の影響を強く受けたデイサービス

- サービス受給者数の全体的な傾向は、1回目の緊急事態宣言が発令された4月より減少して、6月に下げ止まりのボトムとなり、宣言が解除された7月以降に上昇回復していきます。
- そのような状況の中で、サービスの類型ごとでも特徴が見られ、訪問介護/訪問看護では、受給者数の落ち込みが少なく回復が早い一方で、デイサービス/地域密着型デイサービスでは大きな落ち込みとなり、その後の回復も遅く、元の水準には戻っていない状況になっています。
- 一般的に介護サービスは、日常生活を支える上で必要不可欠なエッセンシャルサービスと言われますが、それでもコロナによる影響は、部分的に色濃く表れています。

クラスター発生した事業所に見られる共通点

さらにデイサービスを深掘して、事業所の中で発生したクラスター報告のデータを、2021年1月時点で、当社が集計して取りまとめた情報が以下になります。

<調査内容>

- ・情報日: 2021年1月20日時点
- ・情報元: 自治体HPや事業所HPなど
- ・対象サービス: デイサービス
- ・対象エリア: 東京
- ・対象条件:
 1. クラスターが発生
 2. 事業所名が公表されている(20ヶ所中16ヶ所)
- ・対象事業所: 16ヶ所(認知デイ2ヶ所、地域デイ1ヶ所含む)

<分析結果>

- ・平均定員: 32.2名
- ・介護スタッフ数(常勤換算): 7.3人
- ・食事: あり-15ヶ所、なし-1ヶ所
- ・入浴: あり-15ヶ所、なし-1ヶ所
- ・サービス提供時間:
 - 長い(6時間以上)-15ヶ所
 - 短い(4時間未満)-1ヶ所

※自治体HPや事業所HPなどの公表データを元に、当社がデスクトップリサーチして集計

- クラスターが発生した事業所は、通常～大規模規模が多く、食事・入浴を提供する1日滞在型のデイサービスが大半を占めた。

- デイサービスの中でも、事業所の規模やサービス内容、提供時間などによって感染症リスクの度合いも変わってきています。

■最後に

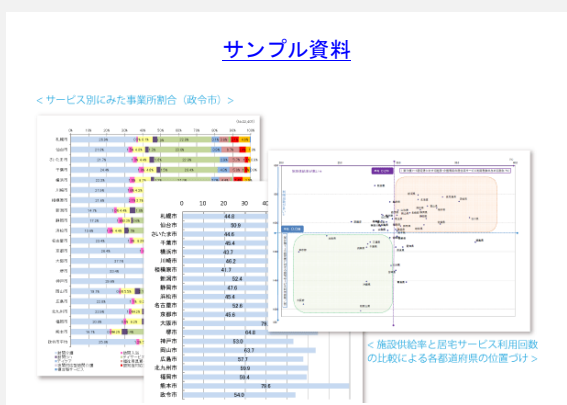
このように当社では、高齢者住宅・介護サービスに特化したデータベースとコンサルティングに長年の実績を持ち、2005年よりデータベースと分析レポートを組み合わせたTPデータ・サービスを提供しており、高齢者の住宅から介護サービスに関わる業界動向の情報を集約しています。

《TPデータ・サービスのラインナップ》

- 「1.高齢者住宅データ〔全国版〕」
- 「2.介護保険居宅サービスデータ〔全国版〕」
- 「3.自治体別高齢者住宅・施設等の需給予測データ」

2020年度下期の「2.介護保険居宅サービスデータ〔全国版〕」では、全国・全17種類・約18万ヶ所の介護保険居宅サービス事業所を収録し、関連する基礎・参考情報や公募情報/M&A/業界ニュース等で構成され、介護保険居宅サービスの概況をワンストップで把握できるデータとなっています。

関連データのサンプル資料やデータ活用セミナーのダイジェスト動画もありますので、こちらをご覧ください。



今回のリリースでご紹介したトピックスをはじめ、高齢者住宅・介護サービスに関わるデータについては、随時、お問い合わせください。

《プレスリリースに関するお問い合わせ》

株式会社 タムラプランニングアンドオペレーティング

担当者名：中里・甲斐

電話：03-3292-1107

E-mail: tamurakikaku-a@tamurakikaku.co.jp

《会社概要》

会社名：株式会社 タムラプランニング&オペレーティング

所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-13 大手町宝栄ビル 601

URL：<https://www.tamurakikaku.co.jp/>